

平成22年度自己評価計画書

							石川県立高浜高等学校	
重点目標	具体的取組	主担当	現状	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考	
1 学力の向上 (1)生徒の学習意欲を喚起し、自主的に学習活動に取り組む態度を養う。 (2)公開授業、互見授業、研究授業を推進し、授業改善に努める。	① 教材・授業内容の工夫を凝らした電子黒板による授業を通して、生徒の学習意欲を喚起し、自主的に学習活動に取り組む態度を養う。	教務課 各教科担任	昨年家庭学習時間調査では、1日平均60分以上の家庭学習時間が確保できている生徒は前期3.2%、後期8.6%であった。	【努力指標】 電子黒板を積極的に活用し授業改善に努め、生徒の学習意欲の喚起、自主的学習活動を促している。	電子黒板を利用した授業を年間を通して A：4回以上行った。 B：2～3回行った。 C：1回行った。 D：1回も行わなかった。	A+Bの合計が70%未満であれば再検討する。	教職員にアンケート調査し7月末に中間集計、1月末に最終集計する。	
	② 互見授業、教科指導等研究会・研究協議会、研修講座等に参加し、公開授業を展開して授業改善に努める。	教務課 各教科担任	昨年のアンケート調査で、「授業改善が十分進んだ」、「授業改善がある程度進んだ」と答えた教職員が、前期80.8%、後期95.5%であった。	【努力指標】 学習指導に関する研修・協議会に積極的に参加し、互見授業・公開授業を行う。	年間を通して、学習指導に関する研修・協議会等に参加した回数と互見授業・公開授業を行った回数の合計が A：4回以上であった。 B：2～3回であった。 C：1回行った。 D：1回も行わなかった。	A+Bの合計が70%未満であれば再検討する。	教職員にアンケート調査し7月末に中間集計、1月末に最終集計する。	
2 進路の実現 (1)家庭とも連携し、個々の能力、適性等に応じた進路実現を目指す。 (2)早期の就職内定に向けて、積極的な指導に努める。	① 重点科目について補習授業を行い、進学希望者の実力向上を期すると共に各種模擬試験を行い、結果の分析を進学指導に活かす。	進路指導課各担任	基礎学力の不足による校内での生徒間の学力差がみられる。	【努力指標】 学校と家庭における学習と学習方法について適切な指導を行い、学力の向上を図る。	進学希望者において、補習授業や模擬試験により A：学力が、かなり向上した。 B：学力が、ある程度向上した。 C：学力が、あまり向上しなかった。 D：学力の向上がみられなかった。	A+Bの合計が60%未満であれば、内容企画を再検討する。	教職員にアンケート調査し7月末に中間集計、1月末に最終集計する。	
	② 担任、就職支援員と連携し生徒の職業人としての意識の確立や社会性を育成する。	進路指導課 3年学年団	進路希望が未定の者がいる。	【満足度指標】 就職に対する不安や疑問が解消される。	学校の進路指導が満足のいくものであったと答える生徒の割合が A：80%以上である。 B：70%～80%未満である。 C：60%～70%未満である。 D：60%未満である。	C、Dであれば、内容企画を再検討する。	7月、9月、1月に集計する。	
3 基本的な生活習慣の確立、在り方・生き方教育 (1)登校指導、巡回指導、授業規律の確立、携帯電話のマナー指導等に取り組む。 (2)自尊感情を向上させ、自己	① 全教職員の共通理解を図り授業の取り組み方や携帯電話マナー指導など校外巡視で徹底する。	生徒指導	授業の取り組む姿勢や意識が低く感じられる。	【成果指標】 ベル着、挨拶、準備、携帯電話マナー等、規範意識が変わることで学習効果が変わる。	昨年度より積極的に授業に取り組み、集中力が向上したと答える生徒の割合が A：80%以上である。 B：70%～80%未満である。 C：60%～70%未満である。 D：60%未満である。	最後の生徒なので必ずA判定を目標とする。	自己評価シート調査で集計する。 (2月上旬)	
	② 定期予防接種の必要性を指導すると共に、自分の健康を自分で管理できる意識を高める。	保健指導	昨年は100%の接種率だったが、一昨年は70%台であり、まだ健康の自己管理意識は高くなかったとは言えない。	【努力指標】 定期予防接種の接種率100%を目指す。	定期予防接種の接種率が A：100%である。 B：90%～100%未満である。 C：80%～90%未満である。 D：80%未満である。	C、Dであれば、指導法を再検討する。	1月末に最終集計する。	

							石川県立高浜高等学校	
重点目標	具体的取組	主担当	現状	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考	
肯定感を育み、「生きる力」を醸成する。	③ 「生徒の理解と対応」をテーマとする校内研修会を企画・実施し、教職員の資質向上に寄与する。	教育相談課	昨年度のアンケート結果では、2回の研修会の評価はA B合わせて100%であるが、より生徒の実態に即した内容の研修が求められている。	【満足度指標】 校内研修会により、生徒理解が深まり以後の教育活動に役立つと感じられる。	校内研修会が A：かなり役に立つ。 B：まあまあ役に立つ。 C：少ししか役に立たない。 D：役に立たない。	A+Bの合計が60%未満であれば再検討する。	校内研修会后、教職員にアンケートを実施する。	
	④ 面接・礼法指導を通じて、将来の社会生活に適應する生活態度の養成につとめる。	進路指導課 3年学年団	一部に適切な自己表現ができない生徒がいる。	【成果指標】 自分の考えが、話せるようになる。	面接・礼法指導を受けた生徒において、自分の考えが話せるようになったと答える生徒の割合が A：80%以上である。 B：70%～80%未満である。 C：60%～70%未満である。 D：60%未満である。	C、Dであれば、実施方法・内容等を再検討する。	1月末に最終集計する。	
4 体力向上と部活動の活性化 (1) 学校をあげて「体力アップ1校1プラン」を推進する。 (2) 部活動を通して人格陶冶と競技力向上を図る。	① 体力アップを推進し、生徒の体力向上を図る。	保健体育科 生徒会指導課 各部運動部顧問	昨年度の新体力テスト総合評価でABC群は全体の76%であり、11月に追跡テストを実施したが、十分な成果が見られなかった。	【成果指標】 総合評価の判定のABC群を昨年度よりふやす。	新体力テストの総合評価のABC群増加が A：15%以上である。 B：10%～15%未満である。 C：5%～10%未満である。 D：5%未満である。	最後の生徒なのでB判定以上にする。	4月と11月に新体力テストを実施する。	
	② 部活動の全員加入を推進する。	生徒会指導課 学級担任 各部顧問	昨年度の部活動加入率は前期96%、後期92%である。途中で退部し再入部しない生徒がいる。	【努力指標】 部活動加入率100%を目指す。	部活動加入率が A：100%である。 B：95%以上100%未満である。 C：90%以上95%未満である。 D：90%未満である。	B判定以上にする。	「学校評価」外部アンケート内で実施する。(7月)	
	③ 部活動を活性化する。	生徒会指導課 学級担任 各部顧問	部活動に加入しているが、実際に活動していない生徒がいる。	【満足度指標】 部活動の取り組みに満足感を得て、毎回の活動に参加している。	部活動の参加が A：毎回参加している。 B：ほぼ毎回参加している。 C：ときどき参加している。 D：ほとんど参加していない。	A+Bの合計を80%以上にする。	「学校評価」外部アンケート内で実施する。(7月)	
5 地域、保護者との連携 (1) 地域から信頼される学校づくりを目指し、ボランティア活動等に取り組む。 (2) 保護者の各種行事への参加を促進し、保護者と教職員の連携を深める。	① ホームページや各課学年からの通信文書等を通して、本校の教育活動の内容を理解してもらおう。	総務課 関係課 学年	昨年度ホームページや各種通信文書を通して学校の様子がほぼ理解できたと回答した割合が61%であった。	【成果指標】 学校の様子を外部に積極的に発信する。	ホームページや学校からの通信によって本校の教育活動が理解できたと感じる割合が A：70%以上である。 B：60%～70%未満である。 C：50%～60%未満である。 D：50%未満である。	C、Dであれば、確実に保護者に届く方策を工夫する。	「学校評価」外部アンケート内で実施する。(7月・1月)	
	② 各種PTA活動や学校行事への保護者の参加を促進し、保護者と教職員の連携を深める。	総務課 生徒会	昨年度学校行事や保護者懇談等で3回以上来校した保護者は35%であった。	【成果指標】 保護者の各種行事への参加率を高める	PTA活動や学校行事等で一年間に3回以上来校した保護者が A：50%以上である。 B：40%～50%未満である。 C：30%～40%未満である。 D：30%未満である。	C、Dであれば再検討する。	「学校評価」外部アンケート内で実施する。(7月・1月)	
	③ ボランティア活動・地域との行事等、地域との交流に積極的に取り組む。	生徒会 総務課 各学年団	心のふれあいプロジェクトや祭り等の地域の行事に継続的に参加している生徒もいる。	【成果指標】 ボランティア活動・地域の行事等、地域との交流に積極的に参加している。	ボランティア活動・地域の行事等、地域との交流に A：積極的に参加している。 B：概ね参加している。 C：あまり参加していない。 D：全く参加していない。	A+Bの合計が60%未満であれば再検討する。	「学校評価」外部アンケート内で実施する。(7月・1月)	